

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程 情報処理システム科	2 学年	C言語 II	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	伊勢本 勝一	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
[実務経歴]			
<ul style="list-style-type: none"> ・IT系企業において約30年間、SEとして担当～マネージャに従事 ・主に保険会社の業務システムにおいて、要求分析～システム提案、要件定義～導入、保守を担当 ・データベース設計～構築、サーバサイドAP開発～テスト、UNIX系OSのサーバ構築を実施 ・業務改革の要求分析～コンサルテーションを実施 			
単位数（授業の回数）	時間数☒	配当時期	必修・選択
2 単位 （ 30 回 ）	60 時間	<input type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期 <input checked="" type="radio"/> 通年	<input type="radio"/> 必修 <input checked="" type="radio"/> 選択
[授業の目的・ねらい]			
<ul style="list-style-type: none"> ・C言語によるプログラム開発の基礎知識を身につける。 ・サンプルプログラムを開発ツール（VScode）を用いてコーディング～実行を行う事により理解度を高める 			
[授業全体の内容の概要]			
①C言語の命令、関数、ファイル処理、等の文法を学ぶ ②各自パソコンで開発環境（VScode）を整備しサンプルプログラムを通じデバッグの手順を学ぶ			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
C言語のプログラミング技術の基礎を身につける。			
[準備学習の具体的な内容]			
予習：教科書の該当箇所を読む。 復習：教科書を読み返す。問題の反復練習。課題の作成。			
[使用テキスト]	[単位認定の方法及び評価の基準]		
使用テキスト C言語完全入門 参考文献 必要に応じて授業の中で紹介する。	定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の3分の2以上の出席が必要。 評価基準 定期試験50%、平常点（出席、課題提出）50%とする。		
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1回	イントロダクション（他言語との違い）、gcc/VScodeのCオプションのインストール、HelloWorld かく		
2回	プログラムの構造（関数、ブロック、文）、名前（識別子）、基本データ型		
3回	式と演算子、優先順位		
4回	変数とスコープ		
5回	if文		

6回	if文 2 / 三項演算子
7回	for文 / インクリメントとデクリメント
8回	まとめと振り返り
9回	for文 2
10回	while文
11回	do~while文
12回	break / continue, switch文
13回	配列の基本
14回	配列の利用
15回	まとめと振り返り
16回	配列 (多次元配列)
17回	文字と文字列
18回	文字と文字列 2
19回	関数 1
20回	関数 2
21回	ファイル分割, 宣言と定義
22回	まとめと振り返り
23回	ポインタ 1
24回	ポインタ 2
25回	配列とポインタ
26回	構造体
27回	共用体
28回	ファイル入出力
29回	関数ポインタ
30回	まとめと振り返り